

第207号

令和2年(2020年)

8月15日号

# 四條畷市 議会 だより



議場にて撮影

## もくじ

### 主な 掲載内容

6月定例議会及び7月臨時議会のあらまし/ 新しい議会の構成/副議長就任のあいさつ/ 感謝状の授与	2	審議結果/一般質問	3-9
		政務活動費収支報告	10-11
		次回定例議会のお知らせ等	12

**6月定例会及び  
7月臨時議会のあらまし**

令和2年6月定例会は、議会期間を8日から23日までの16日間として開会しました。

この定例会では、四條畷市税条例などの一部改正2件をはじめ、令和2年度一般会計補正予算(第2号)、大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議、監査委員の選任、教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦2件について審議を行い、すべて可決しました。その後、副議長の選挙をはじめ、くすのき広域連合議会議員の選挙を行った結果、副議長に藤本美佐子議員が当選されました。

また、7月1日には令和2年度一般会計補正予算(第3号)を議題として、7月22日には令和2年度一般会計補正予算(第4号)を議題として、臨時議会を開催し、それぞれ可決しました。

**新しい議会の構成**

令和2年6月8日現在

議 長 うりう てるよ  
瓜生 照代

副議長 ふじもと みさこ  
藤本 美佐子

監査委員 (議員内選任) ながはた ひろのり  
長畑 浩則

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	会派代表者会議	議会だより編集委員会
◎吉田 裕彦 ○大矢 克巳 吉田 涼子 長畑 浩則	議 長 瓜生 照代 副議長 藤本 美佐子 幹事長 吉田 涼子 幹事長 吉田 裕彦 幹事長 長畑 浩則 幹事長 大矢 克巳	◎瓜生 照代 ○藤本 美佐子 吉田 涼子 吉田 裕彦 長畑 浩則 土井 一慶

一部事務組合議会議員など

くすのき広域連合議会議員	小原 達朗 吉田 涼子 森本 勉 土井 一慶
--------------	------------------------

会派構成表

◎幹事長

会 派 名	所 属 議 員 名
市議会公明党	◎吉田 涼子 小原 達朗 瓜生 照代
大阪維新の会	◎大矢 克巳 土井 一慶
暁ビジョンの会	◎長畑 浩則 島 弘一
なわて葵風会	◎吉田 裕彦 藤本 美佐子 森本 勉
会派に属さない議員	岸田 敦子 渡辺 裕

**就任あいさつ**

市民の皆様には、平素より市政並びに市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、6月定例会におきまして、私は副議長に就任させていただきました。



副議長  
ふじもと 美佐子  
藤本

微力ではございますが、議長を補佐し、また、コロナ禍の早期終息を願いながら、市民に開かれ、身近で信頼される議会の実現に向けて、全力で取り組む所存でございます。市民の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶いたします。

**全国市議会議長会 感謝状の授与**

第96回全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会理事として本会の使命達成に尽くされた功績により、当市議会から吉田 裕彦議員が感謝状を授与されました。



吉田 裕彦議員

定例議会のあらまし

新しい議会の構成

感謝状の授与

審議結果

一般質問

政務活動費収支報告

人事案件／お知らせ

## 令和2年6月定例議会審議結果一覧表

全会一致で可決した議案		概要（議案の説明）
条例改正	四條畷市税条例の一部を改正する条例の制定について	新型コロナウイルス感染症対策により地方税法の一部が改正されたことに伴う関連市税条例の改正を行う。
	四條畷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律の一部改正により、通知カードが廃止されたことから、その再交付に係る手数料に関する規定を削除する。
その他	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	大阪広域水道企業団が共同処理する事務に、藤井寺市、大阪狭山市、熊取町及び河南町に係る水道事業の経営に関する事務を追加すること、及びこれに伴い大阪広域水道企業団規約を変更することについて関係市町村と協議を行う。
補正予算	令和2年度四條畷市一般会計補正予算(第2号)	現予算から12億5万5千円増額し、予算総額を268億3029万5千円と定める。
同意	監査委員の選任について	令和2年10月26日付けをもって任期満了となる 津地 善勝氏を引き続き適任と認め選任する。
	教育委員会委員の任命について	令和2年10月11日付けをもって任期満了となる 吉田 知子氏の後任として、河田 文氏を適任と認め任命する。
	人権擁護委員の推薦について	令和2年12月31日付けをもって任期満了となる 川本 佳二氏を引き続き適任と認め推薦する。
	人権擁護委員の推薦について	令和2年12月31日付けをもって任期満了となる 向井 正樹氏を引き続き適任と認め推薦する。

## 令和2年第1回7月臨時議会審議結果一覧表

全会一致で可決した議案		概要（議案の説明）
補正予算	令和2年度四條畷市一般会計補正予算(第3号)	現予算から5億6559万8千円増額し、予算総額を273億9589万3千円と定める。

## 令和2年第2回7月臨時議会審議結果一覧表

全会一致で可決した議案		概要（議案の説明）
補正予算	令和2年度四條畷市一般会計補正予算(第4号)	現予算から4463万4千円増額し、予算総額を274億4052万7千円と定める。

### [ 一 般 質 問 ]

令和2年6月定例議会

#### ① 土井 一慶議員

1. 新型コロナウイルス感染症に対する本市の主な対応並びに今後の課題について

#### ② 大矢 克巳議員

1. 新型コロナウイルス感染症拡大予防につながる各種施策の現状及び、個別対象に対する今後の展望について
2. 商店街活性化調査研究事業について

#### ③ 吉田 裕彦議員

1. 働き方改革における本市職員の適正配置について
2. 住居表示について
3. 本市における、「ため池」について

#### ④ 小原 達朗議員

1. 地域住民の生命を守る災害発生時の情報共有について
2. 本市のスマートシティへ向けての取り組みについて
3. 新型コロナウイルス感染症対策について

#### ⑤ 吉田 涼子議員

1. コロナ禍に伴う学校休校による子どもたちの学力保障について
2. 災害対策について

#### ⑥ 藤本 美佐子議員

1. 新型コロナウイルス感染症について

#### ⑦ 長畑 浩則議員

1. コロナ禍、本市の計画について
2. 市役所のユニバーサルデザインについて
3. 財政調整基金について
4. 給食費の公会計移行について

#### ⑧ 岸田 敦子議員

1. 新型コロナウイルスに関する対策について
2. 小中学校のコロナ対策について
3. 公共施設の個別施設計画と検討会の状況について

#### ⑨ 森本 勉議員

1. 上下水道料金の減免について
2. 避難所開設時の新型コロナウイルス対策について
3. 職員の精神衛生管理について
4. 旧南中の校庭開放について

#### ⑩ 渡辺 裕議員

1. 新型コロナウイルス感染症に関する支援について
2. 公共施設再編について

6月22日と23日の2日間で、10人の議員が行いました。青色の項目はその概要を掲載しています。



大阪維新の会  
土井 一慶 議員



新型コロナウイルス感染症に対する本市の主な対応並びに今後の課題について

避難所について

☆ 本市における段ボールベッドやパーティションの備蓄状況は。

都市整備部長 現在、備蓄はない。

☆ 早急に備蓄しなければならぬと考えるが。

都市整備部長 必要であると考えており、現在検討している。

☆ 本市では避難所マニュアルを策定しているのか。

都市整備部長 平成27年3月に策定している。

☆ 今後、早急に感染症に対応したマニュアルを策定しなければならぬと思うが。

都市整備部長 コロナ関係の事項を盛り込みながら改訂したい。

☆ 災害発生時、自宅療養者がどの避難所に避難されたか把握できる状態か。

都市整備部長 そのような状況にはない。

☆ 国は、府から市への情報共有は可能と通達を出しているので、検討をお願いする。

第1次プランについて

☆ 福祉施設へのマスクの提供状況は。

健康福祉部長 現在、3万2千枚提供している。

☆ この3万2千枚は提供予定の19万枚の内からの提供か。

健康福祉部長 在庫からの提供である。19万枚については今後購入し、必要に応じて対応する。

☆ 保育園あてのメールには「今後、自分たちで用意してください」とあるが何故か。

子ども未来部長 今後のところまでの記載がなかったのは説明不足だった。

給食費について

☆ ホームページに給食の再開の判断に至っていないが「大量の食材費を事前に調達する必要があるため5月分から納入をお願いします」と発信した理由は。

教育部長 一部の学校で徴収がなされていたため、その判断に至った。

☆ 僅か数日後に、ある小学校では4月分、5月分の給食費を徴収しない旨の文書が出ているが。

教育部長 教育委員会としてもその事実を後に知った。

☆ 学校によって違いが出ている状況であれば、一旦リセットするべきだったのでは。

教育部長 その次に運用をさせて頂

きたいとの方針を立てた。

☆ これは行政の都合であって保護者のことなんて考えていない。最低でも徴収してしまった保護者に対し、丁寧な説明が必要だったと思うが。

教育部長 当初に明確な文言で発信できておれば、このようなことには至らなかつたと考えている。

☆ 今後、市民に不安を与えることのないことに加え、行政側の都合による業務遂行だけでなく厳しい状況に置かれている方々に寄り添って頂くよう強く要望する。

大阪維新の会  
大矢 克巳 議員

新型コロナウイルス感染症拡大予防

につながらる各種施策の現状及び、個別対象に対する今後の展望について

☆ 本市独自の施策は。

総合政策部長 第1次緊急支援プランについては、児童扶養手当受給者への臨時給付金、テナント事業者向けつなぎ資金貸付金、医療機関へのマスクの貸与及び福祉施設や子ども関連施設等へのマスクの提供、家庭学習用教材を届ける郵送費や全ての家庭において学校からの動画配信を受けられるよう通信環境整備が整っていない児童生徒の家

庭学習における通信環境整備支援を行ってきた。第2次緊急支援プランについては、新生児・おなかの赤ちゃん給付金、医療・福祉・衛生業務に従事する方々への感謝金、飲食店舗の宅配代行事業者活用支援事業及び宅配導入支援事業、避難所の衛生環境保全のための備蓄整備を示している。

☆ 子育て世代への市独自の支援施策は。

総合政策部長 児童扶養手当受給者への臨時給付金、通信環境整備が整っていない児童生徒の家庭学習における通信環境整備支援である。今後、第2次緊急支援プランとして実施を予定しているのが、新生児・おなかの赤ちゃん給付金と小中学校へのパソコン整備である。

☆ 大阪維新の会として市議会全員の要望書の中で要望した給食費の6カ月無償化に対しての市長の見解は。

市長 給食費の場合、高校生は給食費がないので、それらをどう手当すべきか、保育に通わせてない家庭もあるもので、保育園においても、自宅で子育てしていたら食費がかかるがそれはどうなるのか、そういう何かを実施した場合にその対象外の方々に対してどう対応すればよいか、



総合的に網羅的に、かつ迅速に進めたい。

☆ 市長が子育て世代の方々の定住、誘致を言っているが、近隣市を見ても、給食費の無償化や、水道代の無償化等を行っている市が多くある。収束宣言が終わった後、子育て世代の方々が四條畷市から離れる可能性も大。目に見える施策をお願いしたい。  
**商店街活性化調査研究事業について**

☆ 「会社設立後2か月で、なぜ、解散したのか。」「各種団体事務局について市役所外への移動をお願いしている中、会社設立に当たり、本社を市役所の住所に、また、弁護士から市長が代表になることを事前に議会に伝えることとされていたにも関わらず、そのことを伝えないまま、なぜ代表取締役を市長にしたのか。」「双方どちらの責任で解散になったのか。」「解約合意書では、一方的に受託者側に、かかった経費を払わせる内容になっていることについて」などの質問がありました。

なわて葵風会

吉田 裕彦 議員



住居表示について

☆ 住居表示未実施地区の今後の

考え方は。

**市民生活部長** 市街地が形成されている地域、西部地区に位置する大字岡山、大字清瀧、大字中野の地区については、地元からの要望に基づき協議・調整を行いながら、住居表示を実施したいと考えている。

☆ 3地区の自治会役員・会長への協議についてはどうか。

**市民生活部長** 地元の相談・要望を含め、丁寧な説明を行い、住居表示実施に向けて進めたいと考えている。  
**本市における『ため池』について**



☆ 『ため池』ハザードマップの周知についてはどうか。

**都市整備部長** 平成30年度に全戸配布及び市ホームページにて公表している。

☆ 西部地域の『ため池』の管理についてはどうか。

**都市整備部長** 平成5年度に各水

利組合と交わした約定書に基づき、管理してもらっているところである。

☆ 約定書締結から25年を経過する中、農業従事者の高齢化、継承問題等、非常に管理が困難な状況となっているが、今後の維持管理について市の考え方はどうか。

**都市整備部長** ため池は灌漑用水としての機能を持ちつつ、防災面においても貯留施設という側面を持ち合わせていることから、適正に維持管理することが重要である。しかし、今では農業従事者の高齢化や後継者不足により厳しい状況であるという意見も聞いている。今後の維持管理については、市としてできる限り協力を継続しつつ、維持管理についての課題等の整理を行い、地元水利組合より検討要望があれば協議を始めたかと考えている。

☆ 地域によって『ため池』を防災公園にとの話があるが、市の取り組みと動向はどうか。

**都市整備部長** ため池を活用した防災公園については、一定の面積を有した公園を確保できることに加えて、防災空間の確保につながる等、都市基盤を向上させる手法の一つであると認識している。ため池の利用及び維持管理について、まずは、地元水利組合への意向確認が必要

と考えている。

市議会公明党

小原 達朗 議員



地域住民の生命を守る災害発生時の情報共有について

☆ 災害発生時にICTを活用し被災地現場の様々な情報(避難所の避難者数、通行止め箇所、給水拠点、支援物資の配布ルートや廃棄物の集積場所などを迅速に整理し、電子地図に表示するシステムを導入すべきと考えるが、ご見解を。

**都市整備部長** 災害対応での関係各部課との情報共有や市民への情報提供などに課題があったことから、今年度、災害情報システムを構築することにしている。

☆ 災害時には迅速に情報を収集し、リアルタイムで関係機関と共有する必要があるので。どこの業界団体を想定しているのか。また、市民への情報提供はどのような手法か。

**都市整備部長** 外部関係機関はもとより、ライフライン事業者などと連携を図っていく。また、市民への情報提供はスマホなどの端末機器を利用し、各種情報を閲覧できるようにするものである。



本市のスマートシティへ向けての取り組みについて

地域の諸課題に対してICTを活用するのは本市が進めているスマートシティでも同じである。これまでの取り組み状況と今後の方向性は。

田原支所長 令和元年8月に国が設立したスマートシティ官民連携プラットフォームに参画し、加えて大阪府スマートシティ戦略会議の第1回会議に先進市として招かれ、翌9月には市民を対象とした四條畷スマートシティ推進フォーラムを開催した。さらに本年度は4月に経済産業省が公募するキャッシュレス化推進モニター29自治体のひとつとして選定された。今後は「日本一前向き」コンソーシアムに参画されている地域団体、大学、企業とともに市民の声を大切にしながら地域課題に取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症対策について
10万円の特別定額給付金の申請率と給付率は何%か。

総合政策部長 申請率は92%、給付率が85%となっている。

未申請者が8%おられるが、この方々には未申請ですよという案内文書を送るべきと思うが。

総合政策部長 できる限り対応していきたい。

一人も漏らさないという姿勢でお願いしたい。大阪府の休業要請支援金の申し込み件数と支給決定数は。
市民生活部長 受付番号の発行件数は法人18件、個人事業主174件である。支給決定数は法人7件、個人事業主51件である。

本市独自のコロナ感染症対策として年金受給者のひとり親家庭への5万円支給、売上げ30%減を対象とした持続化給付金などを検討していただきたい。

市議会公明党

吉田 涼子議員



コロナ禍に伴う学校休校による子どもたちの学力保障について

夏休み、冬休みなどを減らしての学習の確保と聞いたが、具体的にはどういった形で授業の遅れを取り戻そうと考えているのか。一番心配なのが、子どもたちの健康。慣れない生活に子どもたちが安心して授業ができるよう柔軟な対応を。

教育委員長 教育委員会では夏季・冬季休業日を16日間短縮し、各学校では短時間授業の組み合わせや7時間授業の活用等を検討して授業時間の確保に努めている。新しい生活様式の下、熱中症対策に留意しつつ、

適切に対応する。

不安を抱えている子どもたちへの学習指導員の配置の検討を。

個別に寄り添った対応ができるよう大阪府にも配置の希望を出している状況である。

より安全な対策として机の間仕切りなども検討を。

安全な学習環境の確保を考えていく。

今まで以上に心と体のケアが必要になってくる。子どもたちの変化を見逃さない取り組みを。

災害対策について

防災行政無線が行き届かない地域の方への改善策の一つとして防災ラジオの導入の検討を。

まずは、防災行政無線の再整備により的確な情報発信を進める。

コロナ禍の中での災害時ににおける避難所対策として段ボールベッドやパーティションを備品に。

検討を進めていく。

3密を避けるため避難場所の収容人数が変わってくる。従来とコロナ禍による避難所運営マニュアルによる収容人数は。

学校を含めた指定避難所において現在1万2827人まで収容できたが、十分な空

間を確保する条件で試算すると7543人減の5284人となる。

生駒断層直下型地震の避難者数を6918人とした想定の下では、1634人の避難場所が確保できない計算になる。学校以外の避難所の提供や、分散避難体制は。

四條畷高校、四條畷学園、大阪電気通信大学にも新たな避難所スペース確保を依頼。

各学校でのコロナ禍による収容人数は。

四條畷高校240人、大阪電通大学918人。

それでも収容人数が209人足りない計算になる。感染を恐れ車中避難も増えると思うが、イオンの駐車場提供等の協力を得ることはできないのか。

お話は一度させて

いただきたいと思います。
市民の命を守る対策である。新たな避難所の在り方を早急に検討していただきたい。

なわて葵風会

藤本 美佐子議員



新型コロナウイルス感染症について
避難所において台風シーズン



となる中、感染症に対する対策を講じているのか。また、その内容を自治会や自主防災会と共有できているのか。

**都市整備部長**

各避難所既設建物内で新たなスペースを確保し、マスクや消毒液等衛生管理における備蓄品の調達を進めている。自治会等については、会議等を開催し周知する。

☆ コロナ禍の中、避難所運営で今までと異なる点はあるのか。

**都市整備部長**

避難所生活全般において衛生管理面に関し、徹底した対策が必要。

☆ 市職員が庁内で行っている感染症対策はあるか。

**総務部長**

毎朝、所属長が発熱や呼吸症状を把握し、熱などがある場合は自宅療養を推奨。他、マスク着用等、感染症予防対策の周知を行い、業務にあたっている。

☆ 高齢者の避難所における熱中症対策はあるのか。

**都市整備部長**

体育館以外の空調設備のある部屋等を使用する。

☆ 本市は東部と西部に地域が分かれている。トンネル災害が起きた場合、東部地域の高齢者においては、生駒市との連携による助けが必要ではないか。

**都市整備部長**

本市、大東市、生駒市

の3市で、大規模災害時における相互応援に関する協定を締結している。

☆ 避難所での備品について、コロナ禍の中、他市が行っているようなベッドやパーティション等を準備する考えはあるのか。

**都市整備部長**

それらの備品の配備を検討する。

☆ 体調の悪い方などのゾーニングを行うのか。

**都市整備部長**

施設毎に利用計画があり、計画に基づく運営を予定している。ゾーン分けを行う中、必要なスペースを確保している。

☆ 避難所では職員が開設作業を行っているため、職員の体調管理は重要である。職員が飲食する場所の衛生管理はどのようになっているのか。また、自席で食事をとりながら電話対応やパソコン作業を行う人もいる。1日1回、消毒作業等を行っているのか。

**総務部長**

現状においては、北別館食事室のドアノブやテーブルの消毒は行っていない。庁内のデスク周りの消毒も実施していない。

☆ 市議会全員で市長に要望書を出した内容の一つであるが、ウォーキングやドライブスルーでのPCR検査を行っていたきたい。また、避難所においては、感染症により今までの避難内容と異なる点をまとめ、避難者に

配布していただきたい。そして、避難所での利用がスムーズに行えるよう張り紙等を事前に作成し、避難者が戸惑わないよう準備を進めておくこと。以上の内容を強く要望する。

副ビジョンの会  
**長畑 浩則 議員**



コロナ禍、本市の計画について

☆ 市個別施設計画は、感染症に配慮した計画であるべきでは。

**総務部長**

地域防災計画と新型インフルエンザ等対策行動計画双方との連携を図り取り組んでいく。

☆ 避難時、市域全体の動線とゾーニングを計画の中で配慮していただきたい。そういう視点でこの計画を改めて見ると、感染症対策として、避難所内の滞在スペースが計画時の数倍必要。もし、避難された方に感染者が多数出た場合、施設全てを感染者に割り振る必要がある。加えて、長期避難が必要な場合、授業再開を

考え、学校を使うべきではない。その観点から、市民総合センターは重要であり、四條畷南中学校跡地にも、避難所機能を持った複合施設の建設は、以前にも増して必要と考える。

☆ 新型コロナウイルス感染症を避けるため3密を避けるよう全ての

国民が行動していた中、市民に感染者が出た中も、非常事態宣言が出された中もデマンドタクシーを止めなかったが、感染症対策は。

**都市整備部長**

車内の換気と1便ごとの消毒を行っている。

☆ 新型コロナウイルスの第二波が来た時、デマンドタクシーを使って病院へ向かう方が出たとしても不思議ではない。感染拡大を防ぐためにデマンドという乗り合いの形を取るのではなく、個々での移動を促す、タクシー料金助成等への転換も必要と考え、早急に運行形態の議論をしてみたい。

市役所のユニバーサルデザインについて

☆ 椅子を利用されている方が使いたい時にいつでも使える工夫をしていただきたいが。

**総務部長**

制度の趣旨を周知徹底する方策を検討していきたい。

☆ 椅子専用区画に止めるとアスファルト面に書いてある椅子専用区画の表示が見えないので、椅子専用区画とわかる立体的な物の設置と、雨天時に車内から椅子の出し入れをしやすい様に椅子専用区画とゆずりあい駐車区画の2台分に屋根を付けて欲しい。手の不自由な方、高齢者、妊婦さんに必要な温水洗浄便座を全てのトイレ



に付けていただきたいが。  
**総務部長** 総合的に判断する。

**財政調整基金について**

☆ 南海トラフ地震が来た場合、いくら必要か。

**総務部長** 大災害の場合の復旧に

要する費用は、市の財源を投入することは当然だが、国等に支援を求めていくことを想定している。

☆ 大災害時、国等から多額の交付金を出してもらえない。そう判断をした上で、まだ財政調整基金は使え、今使う時だと考える。全額とは言わないが、もう数億円、新型コロナウイルス対策として市民に対し手厚い支援を要望する。そして、来年度以降の税収も下がらないような施策、もしくは支援を事業者にも行っていたらいい。



会派に属さない議員  
**岸田 敦子議員**

**新型コロナウイルスに関する対策について**

☆ 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、市民の命と暮らし、営業、子どもたちをどう守るのか、国も含めて、今、行政がやるべき第一義的な任務となっている。市議会では5月27日、全議員連名で7項目の要望

書を提出した。国の2次補正の交付金を活用し、市独自の水道料金減免や障がい児がいる世帯への給付金の支給、PCR検査の体制づくりも含め、住民の命や生活を守る新たな支援策を打ち出すべきではないか。

**総合政策部長**

全議員連名で提出いただいた要望の趣旨も踏まえ、議員ご提案の障がい児のいる世帯への給付金の支給についても、併せて総合的に判断する。

☆ 大阪府全体のPCR検査は、6月20日時点で保健所への相談件数のうち、検査率は約18%。第2波に備えた体制を整えるべきではないか。市独自の体制が難しいなら、大阪府にさらに強く要望してほしいがどうか。

**健康福祉部長**

感染リスクの高い高齢者の検査体制を強化するなど、大阪府が6月中に示す戦略モデルを注視しながら、必要に応じて保健所や関係機関への要望等もしていきたい。

**小中学校のコロナ対策について**

☆ 1学級20人以下なら分散登校も要らないし、丁寧に目配りできる。日本共産党は、子どもたちに少人数学級をプレゼントしようを合言葉に、様々な人と力を合わせて取り組みを進めようとしている。国・府に要望することも重要だが、市独自

も1校に1人の教員増を進めてほしいがどうか。

**教育長**

20人学級ということで、その有効性は今一番、現場の先生方がよく分かっていると思う。あらゆる機会を通じて、国、府に提言し、要望を上げていくことを強めていきたいと思う。

☆ 市でも教員増の可能性を最大限図っていただくよう強く要望する。机や椅子の消毒、トイレの清掃も教員がやっている。これらの仕事を担う人の確保を考えるべき。

**教育部長**

教員の業務軽減を趣旨とする人材の確保は必要性を認識しているが、現時点では、消毒作業の効率化や学校校務員と教員以外の既存の人材での対応を検討している。

☆ 子どもの権利条約では、子どもの意見表明権が明記されている。子どもの思いを聞くために、アンケートの実施ができないか。

**教育部長**

学校運営に子どもの意見や思いを反映する仕組みとしては、日々の教員との対話、生徒会や児童会といった自治的な取り組みが行われており、今後もさらなる活性化に向けて各校に助言する。

☆ いろんな声を聞くような活動に取り組んで、子どもたちの声を

しっかり聞き、反映してほしい。

なわて葵風会  
**森本 勉議員**



**上下水道料金の減免について**

☆ コロナウイルス蔓延により苦境にある市民生活を支援するため、一定期間、上下水道料金の減免をするべきだと考えるが。

**総合政策部長**

下水道では計画区域外の地域があるので、上下水道料金の減免を基本に考える。水道経営の責務は大阪広域水道企業団が負うべきと考え、5月8日に企業団へ事業統合している9団体連名で水道料金の減免等を求める要望書を提出した。回答を踏まえ減免に対応する。

☆ 府下では既に過半数の自治体が減免を行っている。約1億円あれば全世帯の上下水道料金を半年間半額にできる。何としてでも市独自の上下水道の減免策を実施するよう強く要望する。

**避難所開設時の新型コロナウイルス対策について**

☆ 非接触型の体温計は、どこにくつつあるか。また、豪雨災害時の避難所は市内全体で何箇所か。

**都市整備部長**

現在全小中学校で8台配備済みで、保健センターには



2台ある。避難所は12箇所である。  
 ☆ 旧南中を入れれば13箇所。いつ充足するのか、用途はどうか。  
**都市整備部長** 発注しているが、入荷の目途が立たない。

☆ そもそも感染症を含めたマニュアル自体が未だに無いのか。  
**都市整備部長** 避難所運営マニュアルの改訂はまだであるが開設・運営についての考え方は持ち合わせている。

☆ 他市では、感染症に対する避難所マニュアル改訂や訓練を多数行っている。どうしたらコロナ禍中で住民が安全に避難できるのかという訓練を是非やって貰いたい。  
**都市整備部長** 今後の情勢を適宜見ながら判断する。

**職員の衛生管理について**  
 ☆ 私が数年前に是非取り入れて欲しいと訴えたメンター制度が今年から実施される。その内容は。  
**総務部長** 新採職員と2・3年の経験を持つ職員との兄弟姉妹的な良き相談相手として、違う部署・同じフロアの中で相談できる体制を構築していく。

☆ 月80時間以上の時間外勤務をしている職員は何名くらいいるのか。  
**総務部長** 繁忙期である所、例えば、税などで直前の5月頃には非常に

多くなっている。  
 ☆ 過重労働が起きない快適な職場環境を作ることが市民サービス向上につながる。頑張つて欲しい。  
**旧南中の校庭開放について**

☆ 7月から開放することのだが、その対象になる人・団体、使用料はどうなるのか。  
**教育部長** 開放の目的に鑑み、市民が対象と考える。料金は頂かない。

☆ 草刈り・清掃・避難所となる校舎のガラスの障害はどうか。  
**総務部長** グラウンド開設にあたり一定水準まで高める。校舎のことは今後の課題と認識している。

**公共施設再編について**  
 ☆ 公共施設再編検討会の役割は。  
**総務部長** 適正な公共施設の配置や規模に関し、多角的な視点から今後の公共施設のあり方について検討し、合意形成を図りながら取りまとめる役割と考えている。

☆ 公共施設再編スケジュールは。  
**総務部長** 検討会での議論をもとに議会をはじめ関係機関との調整を経て計画を改定し、計画に基づく事業を実施していく。



会派に属さない議員  
**渡辺 裕 議員**

**新型コロナウイルス感染症に関する支援について**

☆ 特別定額給付金について、4月の臨時議会では「5月下旬から順次支給する」との答弁だった。給付対象世帯件数2万4635世帯に対しての給付件数は。  
**総合政策部長** 6月26日の予定で2万945件。

☆ 人口規模で類似団体である高石市等と比較すると相当遅いペース。特別定額給付金の早期給付をどのように考えているか。  
**総合政策部長** 市民の経済状況を考え、少しでも早く給付することが重要だと考えている。

☆ 早期給付のためには実務を担うプロジェクトチームの仕事量の把握が重要だと思うがそのピークはいつ頃にあると考えているか。  
**総務部長** 6月及び7月と考える。

☆ 他市の状況からも、5月中旬から6月上旬が仕事量のピークだと感じている。その認識があれば必要な戦力を必要な時期に投下できたはずである。答弁からもプロジェクトチーム以外の幹部職員は現場の詳細を把握できていなかった可能性がある。現場監督はいても戦略本部がないような状態に感じた。類似団体である高石市が選択した給付

方式である「一部最速型」のメリット、デメリットは。

**市長** 一部世帯への早期給付を実現できることがメリットだが、申請世帯全体への給付に時間がかかるというデメリットがある。

☆ 本市は一部に早く給付するのではなく、全体への早期給付を優先したが、結果として全体に対しても給付が遅くなっている。高石市が全体の約80%まで給付に要した日数は39日間、本市は61日間。マラソンで例えると、高石市は2時間1分、本市は3時間9分。100メートル走で例えると、高石市9秒58、本市は14秒98。この例からも相当に遅れをとっている。特別定額給付金の未申請者数は。

**市民生活部副参事** 現段階のシステム入力状況では2000件弱。  
 ☆ この中には高齢者が多く含まれている可能性が高い。これらの未申請者に対する確認方法は。  
**市民生活部副参事** 郵送での案内を検討している。

☆ 高齢者の申請もれを防ぐためには、郵送での案内だけでなく、ケアマネジャーや介護事業者との連携を検討するべきではないか。  
**市民生活部副参事** 可能な方策について検討したい。



# 政務活動費収支報告

## 収支報告の見方

【科目①～⑪】(単位:円)

- ①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費  
⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨通信交通費 ⑩人件費 ⑪事務所費

※収入から合計を差し引いた金額(残金)が1円以上ある場合は、市へ返金となります。

※科目ごとに金額を記載し、その科目の主な内容を備考欄に掲載しています。

※平成31年4月分を申請されなかった議員の収入額は、11ヶ月分の44万円となっています。

島 弘一議員		
収入480,000円 (内訳40,000円×12ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	0	
③	221,628	印刷製本費/委託料
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	221,628	
差引	258,372	
返金額	258,372	

藤本 美佐子議員		
収入480,000円 (内訳40,000円×12ヶ月)		
金額	備考	
①	33,220	視察交通費
②	0	
③	457,239	市政報告印刷/委託料
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	26,526	ガソリン代金/携帯電話料金
⑩	0	
⑪	45,991	複合機リース料
合計	562,976	
差引	△ 82,976	
返金額	0	

吉田 裕彦議員		
収入480,000円 (内訳40,000円×12ヶ月)		
金額	備考	
①	39,120	佐賀県武雄市行政視察
②	0	
③	98,637	市政報告発行
④	0	
⑤	57,152	東京陳情・2回
⑥	0	
⑦	0	
⑧	74,604	教育新聞等
⑨	9,576	事務所固定電話
⑩	0	
⑪	63,861	電気代・コピー機保守料
合計	342,950	
差引	137,050	
返金額	137,050	

岸田 敦子議員		
収入440,000円 (内訳40,000円×11ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	19,000	議員研修会参加費
③	141,800	議会報告No.105~117印刷代
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	5,818	コピー用紙、プリンターインク等、 消耗品の購入費
⑧	21,924	書籍購入費
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	188,542	
差引	251,458	
返金額	251,458	

森本 勉議員		
収入480,000円 (内訳40,000円×12ヶ月)		
金額	備考	
①	39,120	佐賀県武雄市行政視察
②	0	
③	219,459	市政報告印刷・配付代等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	12,667	印刷代
⑧	0	
⑨	14,731	事務所固定電話代等
⑩	0	
⑪	220,534	家賃等
合計	506,511	
差引	△ 26,511	
返金額	0	

渡辺 裕議員		
収入480,000円 (内訳40,000円×12ヶ月)		
金額	備考	
①	38,520	佐賀県武雄市行政視察
②	0	
③	77,305	市政報告印刷代
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	115,825	
差引	364,175	
返金額	364,175	

定例議会のあらまし

新しい議会の構成

感謝状の授与

審議結果

一般質問

政務活動費収支報告

人事案件／お知らせ



# 令和元年度

本市議会では、政務活動費の収支報告への領収書の添付を義務付けし、政務活動費の支出に係る責任の所在を明確にするとともに、透明性の確保を図ることとしております。

下記のとおり、令和元年度分として交付された政務活動費に対する収支報告を掲載するとともに、市議会ホームページにも収支報告書と領収書の写しを掲載しております。

大矢 克巳議員		
収入440,000円 (内訳40,000円×11ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	0	
③	0	
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	0	
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	0	
差引	440,000	
返金額	440,000	

土井 一慶議員		
収入440,000円 (内訳40,000円×11ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	0	
③	426,066	市政報告等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	2,640	行政文書請求
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	428,706	
差引	11,294	
返金額	11,294	

長畑 浩則議員		
収入440,000円 (内訳40,000円×11ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	0	
③	459,082	市政報告関係 (令和元年5月～令和2年3月)
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	19,440	都市データバック(東洋経済)
⑨	0	
⑩	0	
⑪	0	
合計	478,522	
差引	△ 38,522	
返金額	0	

小原 達朗議員		
収入480,000円 (内訳40,000円×12ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	167,100	研修会費用
③	25,837	用紙代、インク代
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	24,113	チラシ印刷代、用紙代
⑧	121,413	書籍、雑誌購入費
⑨	19,762	携帯電話、インターネット料金
⑩	0	
⑪	0	
合計	358,225	
差引	121,775	
返金額	121,775	

吉田 涼子議員		
収入440,000円 (内訳40,000円×11ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	307,740	研修参加費
③	47,601	市政報告印刷代
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	0	
⑧	34,250	書籍購入費
⑨	1,241	電話代
⑩	0	
⑪	32,346	パソコン購入費
合計	423,178	
差引	16,822	
返金額	16,822	

瓜生 照代議員		
収入440,000円 (内訳40,000円×11ヶ月)		
金額	備考	
①	0	
②	225,930	研修参加経費
③	50,800	個人報印刷、郵送経費等
④	0	
⑤	0	
⑥	0	
⑦	6,304	文具
⑧	30,800	書籍購入等
⑨	1,241	固定電話代
⑩	0	
⑪	131,125	事務所賃借料等
合計	446,200	
差引	△ 6,200	
返金額	0	

定例議会のあらまし

新しい議会の構成

感謝状の授与

審議結果

一般質問

政務活動費収支報告

人事案件／お知らせ



# 人事案件

## ▼監査委員

令和2年10月26日付けをもって任期満了となる津地善勝氏を適任と認め、引き続き選任することに同意しました。

## ▼教育委員会委員

令和2年10月11日付けをもって任期満了となる吉田知子氏の後任として、河田文氏を適任と認め、任命することに同意しました。

## ▼人権擁護委員

令和2年12月31日付けをもって任期満了となる川本佳二氏を引き続き適任と認め推薦することに同意しました。  
令和2年12月31日付けをもって任期満了となる向井正樹氏を引き続き適任と認め推薦することに同意しました。

### 大阪府後期高齢者医療広域連合議会議員

6月9日付けで同議会の選挙があり、吉田 裕彦議員が当選されました。

### 大阪広域水道企業団議会議員

7月1日付けで議員の選出があり、前任期に引き続き、島 弘一議員が選出されました。

## 9月定例議会の予定

### ■本会議

9月 1日(火)	初 日	:	議案審議
14日(月)	2 日目	:	付託議案の採決・一般質問
15日(火)	最終日	:	一般質問

## 委員会の予定

### ■総務建設常任委員会

9月2日(水) : 付託議案等の審査

### ■予算決算常任委員会

9月 4日(金) : 付託議案の審査

### ■教育福祉常任委員会

9月3日(木) : 付託議案の審査

9月30日(水)	} 一般会計決算の審査
10月1日(木)	
2日(金)	

時 間:原則午前10時から

場 所:本会議は、議場(市役所本館3階) 委員会は、委員会室(市役所本館3階)

◎日程は変更される場合がありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

TEL 072-877-2121(代表)

TEL 0743-71-0330(代表) (内線222)

